別記様式第３号

番　　　　　号

年　　月　　日

独立行政法人農畜産業振興機構理事長　殿

所在地

取組主体名

役職　代表者氏名

〇〇年度大規模契約栽培産地育成強化推進事業実績報告書兼精算払請求書

年　月　日付け農畜機第号において交付決定のあったこの事業について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和４年４月１日付け３農産第3175号、３畜産第1993号、農林水産省農産局長、農林水産省畜産局長通知）別紙２のⅠ－Ⅰの第13の１の（１）に基づき、下記のとおり実績を報告します。また、下記７の精算額を交付されたく、併せて請求します。

記

１　事業の目的

２　事業の内容

３　取組期間：○○年度～○○年度

４　１年目の事業終了年月日：　　年　　月　　日

５　対象品目

|  |  |
| --- | --- |
| 対象品目 | 〇〇〇（〇月～〇月） |
| 用　　途 |  |

※対象出荷期間が定まっている品目は、品目名の後に対象出荷期間を記載する。

※用途については、加工・業務用又は生食用のいずれかを記載する。

６　交付決定額　　　　　円

７　精算払請求額　　　　円

８　７の積算資料

事業対象面積　○○.○（ha）×150 万円（ha）＝交付金額 〇〇円

９　振込先

金融機関名等：　　　　銀行　　　　支店

預貯金種別：

口座番号：

口座名義（フリガナ）：

10　添付書類

（１）契約の履行実績が確認できる資料の写し（契約相手との荷受証明書等）

（２）契約期間が当該年度から翌年度までに及ぶ場合、対象契約の履行が確実であることを証する書類

（３）別紙の取組状況が確認できる資料の写し（例：作業日誌の写し及び取組写真、購入伝票の写し等）

※郵送で申請する場合は、欄外に責任者及び担当者の氏名、連絡先を記載すること。

別紙

１　契約に基づく出荷実績

|  |  |
| --- | --- |
|  | 実績 |
| 契約者名（実需者、中間事業者） | １．実需者（中間事業者）２．○○○（〇〇〇）３．○○○（〇〇〇） |
| 出荷期間（実績）（契約期間） | ○年○月○日～○年○月○日（○年○月○日～○年○月○日） |
| 出荷数量又は出荷面積（tまたは ha）（契約数量又は契約面積） | ○○.○ｔ又は○○.○ha（○○.○ｔ又は○○.○ha） |

（注）１．契約者名欄には、対象契約の相手方を記載する。

２．出荷数量又は出荷面積の欄には、契約方法に合わせて出荷数量又は出荷面積のいずれかを記載する。

３．数量契約の場合、出荷数量は対象契約に基づく出荷数量の実績を記載する。

４．面積契約の場合、出荷面積は対象契約に基づき出荷したほ場面積の実績を記載する。

２　生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大のための取組

|  |  |
| --- | --- |
| 対策項目 | 実績 |
| 取組内容 | 取組時期（年月） | 事業ほ場面積（ha） |
|  | ａ　事業ほ場の設定 |  |  | ○.○ha |
| ｂ　実需者等との一定期間の事前契約の締結 |  |  | ○.○ha |
| ｃ　新規作型の導入 |  |  | ○.○ha |
| ｄ　生産コストの低減 |  |  | ○.○ha |
| ｅ　流通コストの低減 |  |  | ○.○ha |
| ｆ　トレーサビリティシステム等の活用 |  |  | ○.○ha |
| ｇ　出荷量の安定に向けた取組 |  |  | ○.○ha |

（注）１．取組内容欄には、事業実施計画に基づき実施した取組の内容及び使用した資材等を記載する。

２．取組時期欄には、当該取組が行われた年月を記載する。

３．事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積を記載する。

４．１つの対策項目において、複数の取組を行った場合は、取組内容ごとに記載する。

３　作柄安定技術の導入のための取組

|  |  |
| --- | --- |
| 対策項目 | 実績 |
| 取組内容 | 取組時期（年月） | 事業ほ場面積（ha） |
|  | ａ　土層改良・排水対策 |  |  |  |
| 小　計 | ○.○ha |
| ｂ　病害虫防除・連作障害回避対策 |  |  |  |
| 小　計 | ○.○ha |
| ｃ　地温安定・保水・風害対策 |  |  |  |
| 小　計 | ○.○ha |
| ｄ　土壌改良資材施用 |  |  |  |
| 小 計 | ○.○ha |
| 事業ほ場面積（実面積） | ○.○ha |

（注）１．取組内容欄には、事業実施計画に基づき実施した取組の内容及び使用した資材等を記載する。

２．取組時期欄には、当該取組が行われた年月を記載する。

３．事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積を記載する。

４．１つの対策項目において、複数の取組を行った場合は、取組内容ごとに記載する。

５．事業ほ場面積（実面積）欄は、小数点第２位を切り捨て、ha単位で記載する。

（別添１：２及び３の明細）

ほ場内容

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 事業参加農家名 | 事業ほ場の所在地(地番) | 取組年次 | 事業ほ場面積(ha) | 取組 | 備考 |
| ①生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大のための取組 | ②作柄安定技術の導入のための取組 |
| a | b | c | d | e | f | g | a | b | c | d |
| 内容 | 年月 |  | 内容 | 年月 | 内容 | 年月 | 内容 | 年月 |  |  | 内容 | 年月 | 内容 | 年月 | 内容 | 年月 | 内容 | 年月 |
| １ |  |  | 1年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  | 1年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３ |  |  | 1年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４ |  |  | 1年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５ |  |  | 1年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 事業ほ場面積（実面積） |  | ha |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）１．事業参加農家名欄には、事業実施計画に沿って事業に参加した農家全員をほ場ごとに記載する。（地続きの場合は複数のほ場をまとめて記入することも可）

また、記載欄が不足する場合、様式に記載欄を追加して記載する又は、別紙において一覧表を作成し添付することも可能とする。

２．事業ほ場の所在地欄には、番地まで記載する。

３．事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積（小数点第３位を四捨五入し、ha単位で記載する。）を記載する。

４．期間中に１つのほ場で対象品目を複数回作付した場合には、ほ場の実面積を記載する。

５．事業ほ場面積（実面積）欄には、小数点第２位を切り捨て、ha単位で記載する。

６．取組の内容欄には、事業実施計画に基づき、取組内容を簡潔に記載する。

７．取組の年月欄には、当該取組が行われた年月を記載する。

（別添２）

年　月　日

みどりのチェックシート

氏名（法人の場合は代表者名）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |
| --- |
| 【化学合成農薬の使用量低減】 |
| □農薬の適正な使用保管 |
| □農薬の使用状況等の記録を保存 |
| □病害虫・雑草発生しにくい生産条件の整備（健全種苗の使用、病害虫の発生源除去等） |
| □病害虫・雑草の発生状況を把握した上での防除要否 |
| □多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除（物理防除・生物防除の活用等） |

|  |
| --- |
| 【温室効果ガス・廃棄物排出削減】 |
| □電気・燃料の使用状況の記録を保存 |
| □温室効果ガスの排出削減に資する技術の導入（省エネに留意した適切な農業機械・装置・車両の使用、農場由来の温室効果ガス削減、ほ場への炭素貯留等） |
| □廃棄物の削減や適正な処理（プラスチック等の資材の使用量又は排出量削減や廃棄の際の処分の適正化） |

 |

|  |
| --- |
| 【化学肥料の使用量低減】 |
| □肥料の適正な保管 |
| □肥料の使用状況等の記録を保存 |
| □有機物の施用（堆肥や有機質肥料の利用、緑肥・作物残渣のすき込み等） |
| □作物特性データに基づく施肥設計（簡易土壌診断、前作の収量等） |

|  |
| --- |
| 【農作業安全】 |
| □農業機械・装置・車両の適切な整備と管理の実施 |
| □農作業安全に配慮した適正な作業環境への改善（作業方法の改善や危険箇所の表示、保護具の着用、機械・器具の操作方法確認等） |

 |

注１：別添１の事業参加農家ごとに作成すること。

注２：事業の対象品目の生産活動において実施した内容について、□欄に✔又は■を記入すること。なお、該当しない場合は、□欄には／（斜線）を記入すること。